

## 2019 全日本選手権変動種目 規程

### ⑪たけうま ⑫かざぐるま

#### ⑪たけうま

【持ち方】 玉の持ち方

【技の動作】

一方の手で玉を持ち、他方の手でつり下げたけんを持って構える。けんを放して玉を動かしてけんを引き空中でけんを1/2回転させ、玉の穴を利用して玉の上は大皿（又は小皿）の縁を乗せて玉にけん先を接触させた状態で静止させる。けん及び体の動きを少なくとも3秒静止させること。

【注意事項】

- ・構える時、皿胴に糸を引っかけてはならない。
- ・けんの引き上げ方は、前振りでもうら振りでも可とする。
- ・玉の上にけんを乗せる際「大皿の縁」でも「小皿の縁」でもよい。
- ・「一回転たけうま」にならないこと。
- ・玉の上にけんを乗せる際、けん先の向きは問わない。また玉とけん先の接触が見られない場合も可とする。
- ・たけうまを完成させた後、主審の「成功」の合図（挙手）があるまでけん玉と体を静止させておくこと。
- ・けんが玉を持つ手或いはその他の体・物に触れた場合は失敗とする。
- ・手でけんを持って体を一旦静止させて構えた後、けんを振り出すために、膝を曲げ伸ばす動きや、体でリズムをとるなどの予備動作を行った時点で技が開始されたと見なす。
- ・けんを手で持たないで一旦体を静止させ構えた後、けんを前後に振るなどの予備動作を始めた時点で技が開始されたと見なす。
- ・技を開始した後に、再び手でけんを押さえるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。

※ 完成の際に、けん先が手に触れやすい技です。特に予選の際は、審判進行係もアナウンスしますが、審判に手元がよく見えるように立つ角度を工夫して下さい。けん先が手に触れないように、あえて下図のようにけん先を向こう側に向ける乗せ方にすれば無難ではあります。



図1：たけうまの完成形の一例

心ならずもけん先が手に触れてしまった場合は、何とかごまかそうと考えず、速やかに技を中断、終了させて下さい。

## ⑫かざぐるま

### 【持ち方】 とめけんの持ち方

- 持ち替え後の持ち方 1、とめけんの持ち方もしくはとめけんの持ち方に準じる持ち方  
2、とめけんの持ち方もしくはとめけんの持ち方に準じる持ち方  
3、とめけんの持ち方もしくはとめけんの持ち方に準じる持ち方

### 【技の動作】

一方の手でけんを持ち、玉を下につり下げて構える。けんを動かして玉を鉛直上方に引き上げて、けんを放して、けんを持つ手の人さし指を軸にして皿胴をひっかけてけんを手前に1回転させてけんをつかみ、玉を中皿に乗せる。次に玉を投げ上げけんを放して、けんを持つ手の人さし指を軸にして皿胴をひっかけてけんを手前に1回転させてけんをつかみ、中皿に玉に乗せる。最後に玉を投げ上げ、けんを放して、けんを持つ手の人さし指を軸にして皿胴をひっかけてけんを手前に1回転させてけんをつかみ、玉の穴にけん先を入れる。

### 【注意事項】

- ・片手で行うこと（「とめけん持ち」をした手で、「とめけんの持ち方もしくはとめけんの持ち方に準じる持ち方」に持ち替えること）。
- ・技を始める時、皿胴に指をかけてはならない。親指をけんから離してはならない。とめけんの持ち方をすること。
- ・けんをつかんだ時、皿胴をつかんではいない。
- ・玉の穴にけん先が完全に入ること。
- ・玉の穴へのけん先の入れかたは、すくい玉にならないこと。玉の穴が水平より下向きの状態でけん先を入れること。（水平は可）
- ・つり下げた玉をまっすぐ引き上げる動作をするために、膝を曲げ伸ばす動きや、体でリズムをとるなどの予備動作を行った時点で技が開始されたと見なす。
- ・技を開始した後に、引き上げた玉を再び手で玉を押さえるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。
- ・中皿に玉が乗った状態から玉を投げ上げるための動作を開始した後に、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。
- ・この技はけんを手前に1回転させる時、けんを持つ手の人さし指を軸にして皿胴をひっかけることを前提としています（いわゆる風車）。この前提に従わずに、けんを投げ上げて手前に1回転させてはならない（つむじ風にならないこと）。
- ・連続技における修正行為の禁止事項を守ること。

※「かざぐるま」は宇宙一周などのように一周技あつかいをしません。よってけんの握りを修正（指を離す、指をずらす、若しくは新たに添える等）してはなりません。ただし持ち替え中はこの限りではありません。

- 1) つり下げて構えた玉を鉛直上方に引き上げてから中皿に玉が乗るまでの間、
  - 2) 中皿に乗った玉を投げ上げてから再び中皿に玉が乗るまでの間、
  - 3) 中皿に乗った玉を投げ上げてから玉の穴にけん先を入れるまでの間、
- 上記の1)～3)は持ち替え中と見なします。

※つり下げた玉はまっすぐ引き上げること。前に振り出さないこと。